

様式第2号（第8条関係）

審議会等会議録

会議の名称	令和7年度第1回加須市立図書館協議会
開催日時	令和7年8月29日（金） 午後2時00分から午後3時20分まで
開催場所	加須市立加須図書館1階集会室
議長氏名	松永茂男委員
出席委員	松永茂男委員、梅澤哲雄委員、大谷貴子委員、黒川スミ子委員、 島崎すみ江委員、加地直紀委員、小林悦子委員、加藤純子委員、 江利川哲也委員
欠席委員	山村一久委員
会議次第	1 開会 2 委嘱状及び任命書の交付 3 あいさつ 教育長 4 委員の紹介 5 事務局の紹介 6 正・副委員長を選出 7 正・副委員長のあいさつ 8 会議録署名委員の選任について 9 議事 (1)第4次加須市子ども読書活動推進計画実施状況について (2)令和6年度事業結果および令和7年度事業予定について 10 その他 11 閉会
会議資料の名称	・資料1 第4次加須市子ども読書活動推進計画実施結果（総括表） ・資料2 「第4次加須市子ども読書活動推進計画」における令和6年度の 実施状況 ・資料3 令和6年度加須市立図書館事業結果 ・資料4 令和7年度加須市立図書館事業予定
会議の公開又は 非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴者の数	0人
説明者の職・氏名	図書館課長 松井美紀、同課主幹 柳田尚季
事務局職員 職・氏名	生涯学習部長 斉藤千恵美、図書館課長兼加須図書館長 松井美紀、 騎西図書館長 福田誠一、北川辺図書館長 相良 格、 童謡のふる里おおとね図書館長 武澤昌代、同課主幹 阿部浩和、 同課主幹 牛久保敏之、同課主幹 柳田尚季
会議録の作成方法	☒ 要点記録 ☐ 全文記録
その他必要な事項	

様式第3号（第8条関係）

発言者	会議の内容（発言内容、審議経過、決定事項等）
事務局（柳田）	開会
事務局（松井課長）	委嘱状及び任命書の交付
教育長	あいさつ
事務局（松井課長）	委員の紹介 自己紹介 事務局の紹介
教育長	正・副委員長の選出 委員長に松永委員を、副委員長に梅澤委員を選出
松永委員長 梅澤副委員長	正・副委員長のあいさつ あいさつ あいさつ
松永委員長	会議録署名委員の選任について 会議録署名委員を梅澤副委員長選任
松永委員長	議事 議事に入る。 （1）第4次加須市子ども読書活動推進計画実施状況について、事務局より説明を求める。
事務局（松井課長）	〔第4次加須市子ども読書活動推進計画実施状況に基づき説明〕
松永委員長	何かご質問は。
加地委員	加須市としては、市民、こどもに対して読書や本に関してどうなって欲しいと考えているのか。
事務局（松井課長）	配布した子ども読書活動推進計画の趣旨に、こども読書活動の意義を示している。 こどもの頃から読書に親しみ、大人になってからも本を読み、図書で学ぶ。そのようなサイクルになるよう、小さな頃から、本に親しんでもらいたい。
加地委員	十分、目標達成しているように思える。自分達に対する評価が厳し過ぎると思う。
事務局（松井課長）	評価については、加須市総合振興計画を上位計画とし、その下に様々

	な部門計画を策定している。第4次加須市子ども読書活動推進計画も、その部門計画として位置付けられている。 そのため、成果指標の達成度評価は、加須市総合振興計画の評価の仕方と合わせなければいけない。 例えば、学校30校のうち20校やったが、やっている回数が少ないと評価が半分になるといった評価をしなければならない。やったのだから、「今回は目標達成した。」というわけにもいかない。
加地委員	55番、公立保育所や公立幼稚園の園児に対し児童生徒が絵本等の読み聞かせを実施した学校の割合というのは、こどもがこどもに読み聞かせをするということか。
松永委員長	加須市では、保幼小中の連携を進めている。 例えば、中学生が、職場体験の中で読み聞かせをするといった活動を学校教育課として推奨している。
大谷委員	30番の学校における図書ボランティアが活動した学校の割合。学校の日課表の見直しにより、朝の読書活動の時間がなくなったとのことだが、こういう時間があってこそ、習慣が続くと思うが。
斉藤部長	国の働きかけがあり、教職員の働き方改革の一環である。 朝、こどもたちが登校することが早ければ、先生方が対応する。 こういった朝の読書、校庭マラソンなどが、今まで設けられていたが、その時間にこどもたちが登校してそれらに教員が対応していたということで、その時間帯をなくした取り組み。それに関わることは学校ごとにいろいろ考えてやっている。
江利川委員	教職員の勤務時間が決まっていて、それ以外の勤務時間を、月45時間までにしなければいけない。1日2時間を超えると、厳しくなる。こどもが帰る時間を早くすることで、勤務時間終了までの間の時間が取れる。朝の活動ということで、大抵の学校は8時から8時20分ぐらいまでやっていた。そこを縮減して、こどもたちが帰る時間を早くして、教職員の働く時間を増やすという形でやっている。 例えば、週に2回は朝の活動を取ろうという工夫をしている学校もある。本校は今のところ、朝の活動を20分間とっており、月曜日を読書の時間としている。
事務局（柳田）	〔令和6年度図書館事業結果および令和7年度図書館事業予定に基づき説明〕
松永委員長	何か、質問は。
加地委員	令和6年度の結果、令和7年度の予定、どちらでもよいが、除籍図書の配布について。大学図書館でも、いらなくなった図書の配布を考えているが、これはどのような機会に行って、どのくらいの人が、受け取る

	のか。
事務局（松井課長）	夏休み期間中で実施。優先的に幼稚園、小学校、中学校に照会をかけ、リストを作成し、学校等で必要があれば、持って行ってもらっている。
加地委員	個人じゃなくて学校が相手ということか。
事務局（松井課長）	除籍した本を優先的に、幼稚園から小学校、中学校、公共施設などに照会し、本を、もう一度使ってくださいという形で実施している。 また、図書館まつりの古本市で、一般の方に持って行っていただいている。 なるべく廃棄しないように、必要な方に必要な本をお渡しできるように実施している。
事務局（斉藤部長）	資料4にボランティア団体との協働に今年度の予定を掲載している。 各図書館の図書館まつりの際の古本市では、朝、開館前に行列ができていて、これを目的に、非常に楽しみに待っている方がいる。
梅澤副委員長	昨年の協議会で「こども司書講座」のポスターについて、もう少し工夫したほうがよいのではないかと意見を述べた。今年のポスターも昨年のテンプレートだった。担当者に余裕がないのではと事務分掌のことなども心配した。たくさんの事業を連発して、数字を求めることも必要かもしれないが、新しい事業を始めたら、古い事業をひとつ削るとか、そのぐらいの気持ちで新しい事業に力を入れていった方がいいのではないか。
事務局（斉藤部長）	スクラップアンドビルドとして、仕事の優先順位をつけることを、各図書館で検討している。 それによって、一番やりたいことを明確にする。 スクラップについては、来年度に向けて必要と考えている。
松永委員長	司書講座のPRについてはどうか。
事務局（牛久保主幹）	昨年度の持ち越しという面も多々あった。なるべく工夫したつもりだったが、今後に向けて、そういったご意見を反映する。 周知については、対象となる児童生徒あてに学校にご協力いただき、1枚ずつ、チラシを配布した。 また、市報や図書館のホームページに掲載、市の情報発信としてXや、フェイスブック、LINEなどでも情報配信した。周知方法については、できる限りの周知は行った。 しかし、ポスターの関係は、ご指摘いただいたとおり、改善の余地はある。 こども司書講座の関係で、大変すばらしい事業とのお褒めの言葉をいただいている。こども司書をやるには、通常業務のほかに、図書館

	職員が講師として、講義を行ったり、窓口業務を教えたりと、通常業務を外れて行うため、多少の負担があり、今後もやり方としては考えていかなければいけない。 また、今回、朝9時から夕方4時まで、ほぼ1日実施した。ほかの自治体では、午前中のみ月1回で合計4回など、やり方によっては、職員の負担もかけずに、より効果的な実施方法もあることが、ほかの自治体の例も見てわかってきたので、今後検討したい。
松永委員長	小中の司書教諭と図書館職員との交流場面というのは設けているか。
事務局（斉藤部長）	学校支援という形で、図書館司書が学校を支援、お手伝いさせていただくということで周知している。
事務局（阿部主幹）	司書教諭を一堂に集めてということはないが、昨年度は図書館担当教諭の皆様が、ビブリオバトルを取り入れたいということで、私ほか2名の職員で、ビブリオバトルを実施し、進め方や展開について話をした。 あとは個別に対応している。例えば、加須北中学校では、図書室のレイアウトや配架の方法について照会があった。実際に見に行くと、少し古い資料ばかりあって、せっかく新しく買っても、買った本が埋もれていた。それをどかして、その面出し、表紙を見せてあげたらいいのではないかとアドバイスした。 学校図書館担当の先生から、新しく買った本を対象に、市立図書館でやっている装備の仕方を教えてくださいと依頼があり、やり方を指導するという連携は実施している。
松永委員長	例えば、図書館担当教諭で、毎年、年1回、主任会を実施している。 そういった折に図書館職員が、その主任会に参加して、図書館の事業を説明したり、学校にお願いしたいことを重点化したり、或いは、図書館にやって欲しいことを学校担当教員から意見を聞くというのによいのでは。 図書館課といろいろな課との連携のもとに事業展開されている。こども保育課の幼稚園や保育所の職員が、研修をやっているが、そういった折に、読み聞かせの研修をするなどの連携も必要かと思う。
江利川委員	以前は、年2回ある学校図書館の主任会のうち、1回目は4月に組織づくりとして開催する。2回目として読書感想文コンクールの審査を実施していた。その審査をデータ上で集まらずに実施するようになった。そのかわりに研修会にした。昨年度はビブリオバトルを実際にやっていただき、それを体験する研修を実施した。その前は、学校図書館のボランティアとどう学校図書館を生かしていけばよいかというお話をした。今年度もご協力をいただき、同じような形で研修をしたいと考えている。 この指標の中にある幼稚園、保育園の先生というのは、仕事をしている間、お子さんがいるので、研修会は難しいと考える。

梅澤副委員長	学校図書館の図書の装備が、すごく簡易な感じがする。こどもにとっては、見た目がすごく大事。カバーが破れたような本では、なかなか手に取りづらいということがある。 学校図書館の児童書は、どちらで装備されているのか。
事務局（柳田）	司書教諭を配置している学校は、司書教諭が実施している。 司書教諭を配置していない学校は、学校図書館担当教諭が実施しており、すべて学校で実施している。
梅澤副委員長	そういった装備の指導に関する資料を使って配布すると、担当の先生も助かると思う。 （議事終了）
会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。（注） 令和7年 9月13日 署名 <u>梅澤 哲雄</u>	

（注）特に署名を要しない審議会等については、事務局名を記入してください。